

秋田県秋田市における基本計画の概要

計画のポイント

新型コロナウイルス感染症を契機とした地方回帰意識の高まりや、テレワークの普及、ワーケーションに対する関心の高まりなどの社会変容を捉えて、中核市でありながら、豊かな自然環境や農山村資源を有する本市の強みを活かし、「観光」「農水産・物産」に関連する事業を拡充・創出することにより、関係人口の拡大と農山村地域の振興を図る。

促進区域

秋田県秋田市

経済的効果の目標

地域経済牽引事業を6件創出し、促進区域で2億7千万円の付加価値を創出することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～②のいずれか）】

- | | |
|-----------------------------------|--------------|
| ①【地域の特性】秋田市の豊かな自然環境と農山村資源 | 【活用戦略】観光 |
| ②【地域の特性】秋田市の豊かな自然や水資源による多種多様な地場産品 | 【活用戦略】農水産・物産 |

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：35,480千円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 売上げ：開始年度比で7%以上増加
- 取引額：開始年度比で7%以上増加
- 雇用者給与等支給額：開始年度比で6%以上増加
- 雇用者数：開始年度比で6%増加

制度・事業環境の整備

- ・不動産取得税、固定資産税の減免措置の実施
- ・地方創生推進交付金の活用
- ・秋田市が有するデータの事業者への提供
- ・事業者からの事業環境整備の提案への対応
- ・県市の緊密な連携による対応、事業開始後における支援の継続、周辺環境の整備の促進

地域経済牽引支援機関

秋田県立大学、秋田県総合食品研究センター、（公財）あきた企業活性化センター、秋田県6次産業化サポートセンター、秋田市農山村地域活性化センター「さとぴあ」、（特非）秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会、秋田商工会議所、河辺雄和商工会、（一社）日本旅行業協会東北支部秋田地区委員会、（株）秋田銀行、（株）北都銀行



《秋田市の農山村資源の例》



美しい農村景観

多種多様な地場産品

計画期間

計画同意の日から令和8年度末日まで